

まだ、きっと知らない善光寺にであう



あさじ お朝事



せっかくなら一大行事に参列できる早朝参拝

「一生に一度は善光寺参り」と、信州善光寺には毎日大勢の方々にお越しいただいていますが、“知る人ぞ知る”参拝ポイントが多いのも善光寺。参拝時間が季節によって変わるのも、その一つです。

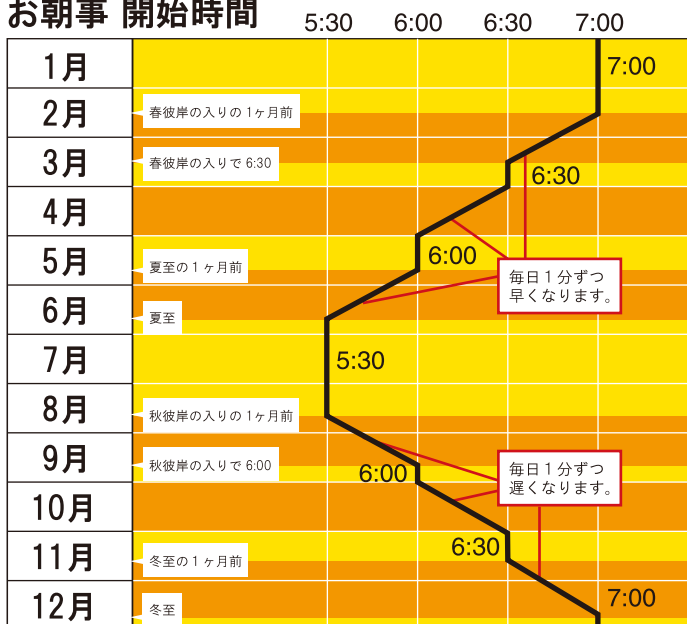
境内にはいつでも入っていただけますが、“善光寺の一日”は、本堂が日の出に合わせて開き、朝のお勤め「お朝事」で始まります。静寂に包まれた本堂に、僧侶の読経、念仏が響き渡り、秘仏の御本尊が安置されている瑠璃檀の戸帳が開かれます。ずっと昔から365日欠かさず行われている早朝の風景です。

お朝事の前後には「お数珠頂戴」



お朝事ではお申込みのあるご供養・ご祈願も執り行われ、お朝事前後の参道ではお導師から頭に数珠を受けていただけます。“朝活”として、一日のスタートに、善光寺の真髓を丸ごと体験していただける行事です。

お朝事 開始時間



- 本堂は、お朝事開始の1時間前に開きます。
- ご供養・ご祈願は、お朝事開始の30分～10分前の間にお申込みいただけます。

日ごとの詳細時間は、
Webページをご参照ください

<https://www.zenkoji.jp/event>



善光寺事務局

長野県長野市大字長野元善町491-イ
Tel:026-234-3591 Fax:026-235-2151
<https://www.zenkoji.jp/>

【お朝事】とは？

善光寺は無宗派ですが、善光寺を護持運営する天台宗と浄土宗の順に2回行われる朝の勤行です。

全体で1時間くらいです。

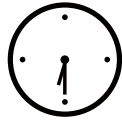
各宗派のお朝事（各30分程）のあとに、お申し込みいただいた

供養・ご祈願の法要が入ります（5～20分間程）。

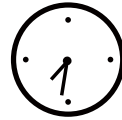
法要は、天台宗のあと、浄土宗のあと、と毎日交互に行います。

※お朝事の始まる時間は、季節によって変わります。

お朝事の流れ【6:30開始の場合】



【開始】 6:30



【終了】 7:30過ぎ

最初の30分

天台宗のお朝事



06:30

- ① 開始時間になると、善光寺本堂の「衆来（しゅらい）の鐘」とともに、大勧進からお導師が本堂に向かわれます。参道の左側で跪いていると、頭に数珠を頂戴し、功德を授けていただけます。（足腰の悪い方は、頭を下げていただければ結構です）



06:40

- ② 本堂の中（内陣）にお入りください。天台宗の僧侶が内々陣に入って着座します。鐘の合図で、金欄の戸帳（雲龍の図柄）が上がります。



7:00前

- ③ 約20分間、民謡や浄瑠璃の源流ともいわれる仏教音楽「声明（しょうみょう）」が続きます。この間に厨子の扉が開かれますが、秘仏のため直接は見えません。

- ④ お導師が内々陣に入り、読経が始まります。この間お導師は御本尊と開山卿（本田善光卿）の前のお供え（ご飯）にご祈禱を行います。

- ⑤ お導師が参列者皆様の方向を向いて、10回、南無阿弥陀仏をおとなえます。

- ⑥ 鐘の合図で幕が下りて、お勤めが終わります。お導師は本堂から退堂されます。（本堂に向かって）参道の右側で跪いていると、頭に数珠を授けていただけます。



7:00過ぎ

次の30分

浄土宗のお朝事



07:00

- ① 天台宗の流れ③の頃の時間に、大本願からお導師が本堂に向かわれます。参道の左側で跪いていると、頭に数珠を頂戴し、功德を授けていただけます。（足腰の悪い方は、頭を下げていただければ結構です）



07:10

- ② 浄土宗の僧侶が内々陣に入って着座します。

- ③ 約20分間、お経が読まれます。



7:30前

- ④ 鐘を鳴らしながら南無阿弥陀仏をととなえ、戸帳が上がります。

- ⑤ お導師が参列者皆様の方向を向いて、10回、南無阿弥陀仏をおとなえます。

- ⑥ 鐘の合図で幕が下りて、お勤めが終わります。お導師は本堂から退堂されます。（本堂に向かって）参道の右側で跪いていると、頭に数珠を授けていただけます。



7:30過ぎ